取扱説明書

HITACHI
Inspire the Next

日立外付けハードディスクユニット

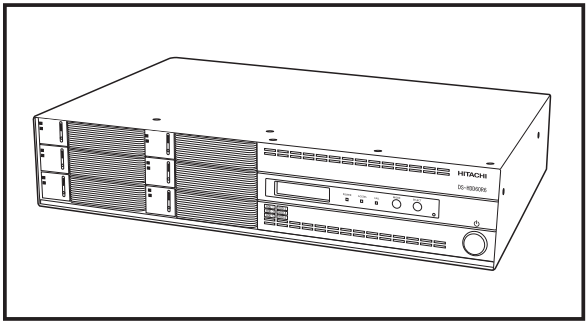
DS-HDD60R6
DS-HDD30R6

1章　はじめに

2章　接続のしかた

3章　基本操作

4章　付　録



このたびは日立外付けハードディスクユニットをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
なお、お読みになったあとは、保証書とともに大切に保管してください。

もくじ

1章　はじめに

1. 主な特長 …… 3
2. 付属品について …… 4
3. 安全にお使いになるためのご注意 …… 5
4. 設置上のお願いおよび使用上のご注意 …… 12
5. お手入れと定期清掃のお願い …… 14
6. 各部の名称 …… 15

2章　接続のしかた

1. 監視用デジタルレコーダーと接続する …… 17
2. 機器接続線の接続 …… 18
3. eSATA ケーブルの接続 …… 19

3章　基本操作

1. 電源の入れかた / 切りかた …… 21
2. 有効記録容量について …… 22

4章　付録

1. 本機に DS-JH270/JH260 を載せてお使いになるとき …… 23
2. 故障かな…と思ったら …… 23
3. 保証とアフターサービス …… 24
4. 仕　様 …… 26
5. お客様ご相談窓口 …… 27

1 章　はじめに

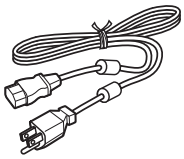
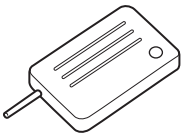
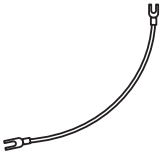
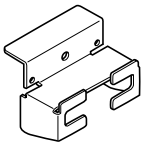
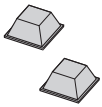
1.　主な特長

■ 外付けハードディスクユニットは、1TB × 6 台（DS-HDD60R6）、および 500GB × 6 台（DS-HDD30R6）の HDD を内蔵し、シリアル ATA（SATA）インターフェースを持つ日立監視用デジタルレコーダー専用の記録容量増設ユニットです。

■ 外付けハードディスクユニットは RAID-5 および RAID-6 に対応しています。

RAID モード	特長・機能
RAID-5	• データに加えて、パリティと呼ばれる復旧用データを生成し、HDDに障害が発生しても、残りのデータとパリティにて元のデータを復元可能なモードです。HDD 6台にデータとパリティを等分して生成するため、負担が分散し、特定のHDDへのアクセス集中を防ぎます。 • HDD 1台に障害が発生しても動作を継続します。 HDD 2台以上障害時は復旧不能となります。 • 障害が発生した HDD を交換後にリビルド(※)することでデータの復旧が可能です。 リビルド中に他の HDD に障害が生じると復旧不能となります。 ※ リビルドとは、交換した新しい HDD に対し、他の正常な HDD からデータの復旧を行うことです。
RAID-6	• RAID-5 に対してパリティを二重化し、耐障害性を高めたモードです。 • HDD 2台に障害が発生しても動作を継続します。 HDD 3台以上障害時は復旧不能となります。 • 障害が発生した HDD を交換後にリビルドすることでデータの復旧が可能です。 HDD 1台障害発生時のリビルド中に他のHDD 1台に障害が発生してもリビルドを継続します。 HDD 2台障害発生時のリビルド中に他のHDDに障害が生じると復旧不能となります。

2. 付属品について

電源コード  電源コードは本機専用です。（※ 1）	**セキュリティキー**  HDD を交換するときに使用します。大切に保管してください。	**機器接続線**  ご使用方法は18ページをご覧ください。	**eSATA ケーブル** ご使用方法は19ページをご覧ください。
ローレットネジ ご使用方法は18ページをご覧ください。	**SATA ブラケット（DS-JH シリーズ用）**  ご使用方法は19ページをご覧ください。	**ゴム足（DS-JH270/JH260 設置用）**  ご使用方法は23ページをご覧ください。	**取扱説明書（本書）** 取扱説明書 DS-HDD60R6 DS-HDD30R6 大切に保管してください。
保証書 大切に保管してください。			

※ 1：電源コードは他の機器のものを使用しないでください。また、他の機器に使用しないでください。

3. 安全にお使いになるためのご注意

この取扱説明書には、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために、重要な注意事項を記載しています。
注意事項は、取り扱いを誤った場合に発生が想定される危害や損害の程度を、次のとおり「警告」「注意」の２つに分類しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。
お読みになったあとは、保証書とともにいつでも見られるところに必ず保管してください。

■表示について

⚠警告	誤った取り扱いをすると、「人が死亡または重傷（※ 1）を負う可能性が想定される」内容を示しています。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、「人が傷害（※ 2）を負う可能性が想定される」内容および「物的損害（※ 3）のみの発生が想定される」内容を示しています。

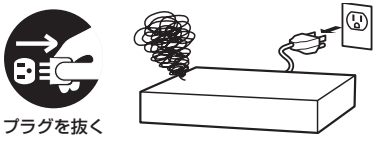
※ 1 重傷 ..... 失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、または治療に入院や長期の通院を要するものを指します。
※ 2 傷害 ..... 治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。
※ 3 物的損害 ..... 家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

■図記号の意味

	この記号は、気をつけていただきたい**「注意」**内容です。		この記号は、手を触れてはいけない**「接触禁止」**を表しています。
	この記号は、してはいけない**「禁止」**内容です。		この記号は、**「ぬれた手で扱うことを禁止する」**ことを表しています。
	この記号は、**「水にぬらすことを禁止する」**ことを表しています。		この記号は、必ず実行していただく**「強制」**内容です。
	この記号は、**「分解禁止」**を表しています。		この記号は、コンセントから**「電源プラグを抜く」**ことを表しています。

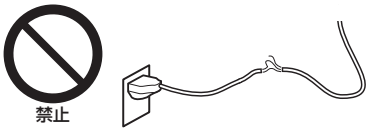
⚠警告

煙が出ている、へんな臭いがするなど異常があるときは、電源プラグを抜く



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
異常状態に気づいたらすぐに使用を中止し、販売店などにご相談ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

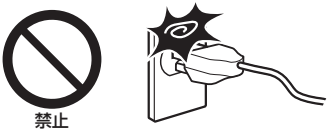
電源コードを破損させない



電源コードの破損につながるので、取り扱いの際は、次の点を守ってください。
- 傷つけない
- 加熱しない
- ねじらない
- 引っ張らない
- 無理に曲げない
- 加工しない
- たばねない
- 重いものや角が鋭利なものを乗せない
- 敷物などでおおわない

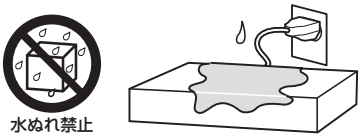
破損したまま使用すると、火災・感電の原因となります。
万一、コードが破損したときは、電源プラグをコンセントから外して販売店などにご相談ください。

電源プラグにほこりや汚れ・金属物などの異物を付着させない



電源プラグに異物が付着したまま使用すると発熱し、火災・感電の原因となります。
万一、付着しているときは、電源プラグをコンセントから外し、取り除いてください。

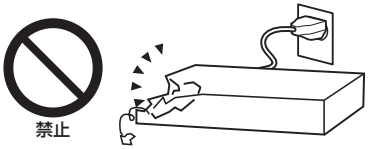
水にぬらさない



内部に水が入ったまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 内部に水が入ってしまったときは、使用を中止し、販売店などにご相談ください。
- 水場では本機を使用しないでください。
- 屋外では本機を使用しないでください。
- 窓辺で使用するときは、本機をぬらさないようにご注意ください。

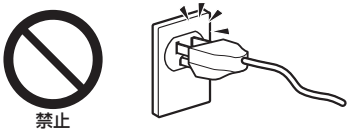
⚠警告

落としたり、キャビネットを破損しない



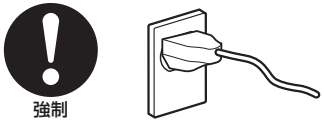
落としたり、キャビネットを破損した場合は、正常に動作しているように見えても内部に異常がある場合があります。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
電源プラグをコンセントから抜いて販売店などにご相談ください。

電源プラグが不完全な接続のまま使わない



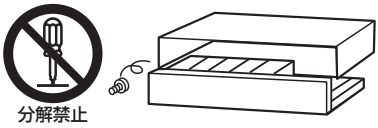
接触不良で発熱し、火災の原因となります。

電源コードは付属品を使用する



付属品以外のものを使用すると、火災・感電の原因となります。

分解・改造しない、カバーを開けない

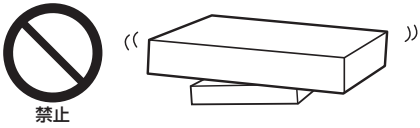


分解・改造すると、火災・感電・漏電・けがの原因となります。
カバーの内部には電圧の高い危険な部分もあります。内部の点検・調整・修理は販売店などにご相談ください。

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となります。

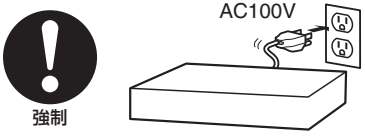
本機より小さい機器や台の上に置かない



本機より小さい機器や台の上に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、故障の原因となります。

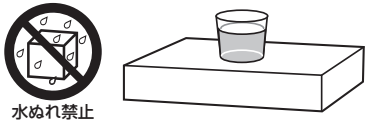
⚠警告

表示された電源電圧で使用する



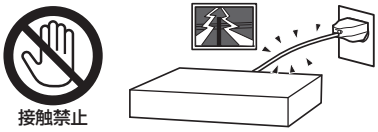
表示された交流 100 ボルト以外の電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。

水の入った容器をのせたり、小さな金属物を置かない



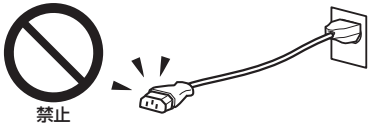
本機の上や近くに、花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品、水などの入った容器、または小さな金属物を置かないでください。水や金属物が中に入ると、火災・感電の原因となります。

雷がなるときは電源コードに触れない



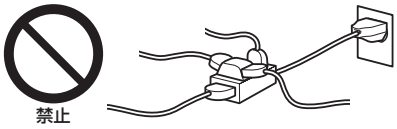
雷が鳴り始めたら、電源コードに触れないでください。感電の原因となります。

電源コードだけをコンセントに差し込んだままにしない



電源コードだけを、コンセントに差し込んだまま放置しないでください。火災・感電の原因となります。

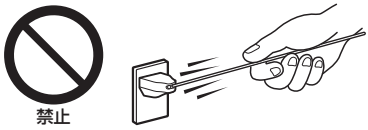
タコ足配線をしない



タコ足配線をしないでください。火災・過熱の原因になります。

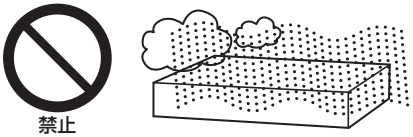
⚠注意

電源コードを持って引っ張らない



電源コードを持って引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
電源プラグをコンセントから抜くときは、プラグ部分を持って抜いてください。

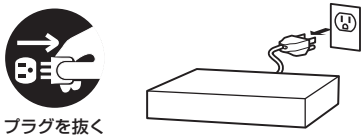
湿気、ほこり、湯気は避ける
振動が激しい場所は避ける



火災・感電を防止するため、次のような場所に置かないでください。

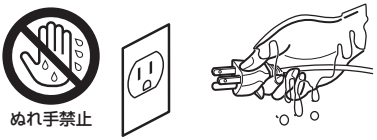
- 湿気やほこりの多い場所
- 湯気や湯煙が当たる場所
- 温風または冷風が当たる場所
- 振動が激しい場所

長期間ご使用にならないときは電源プラグを抜く



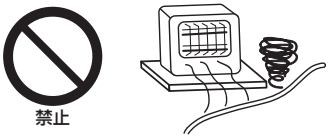
安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない



ぬれていると感電の原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近づけない



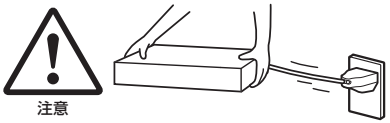
コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

許容動作温度（湿度）範囲外では使用しない

許容動作温度（湿度）5～40℃（10～75%）の範囲外で使用するとハードディスクの故障や機器の故障の原因となることがあります。

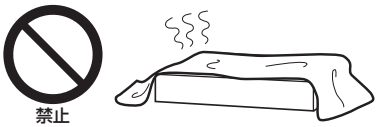
⚠注意

移動させるときは注意する



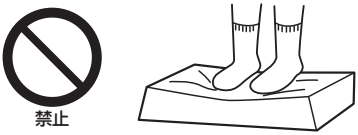
移動させるときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードを外したことを確認のうえ、行ってください。外さないで移動するとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

通風孔をふさがない



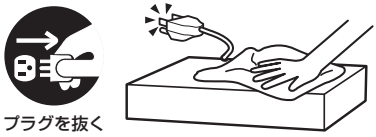
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。本機を風通しの悪い狭い所に押し込んだり、通風孔をふさぐような物を置いたりしないでください。

本機の上に乗らない



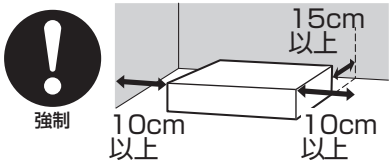
倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

お手入れするときは電源プラグを抜く



安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

後面は壁から 15cm 以上、左右は 10cm 以上離して設置する



十分なスペースを確保してください。十分なスペースがないと、本機内部に熱がこもり、故障・火災の原因となることがあります。

重いものを置かない

本機の上にテレビなどの重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

⚠注意

保守点検について

保守点検を販売店などにご相談ください。長い間掃除しないと本機内部にほこりがたまり、火災や故障の原因となることがあります。湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、保守点検の費用については、販売店などにご相談ください。

温度差のある場所への移動について

- 特に、移動する場所で温度差が大きい場合は、表面や内部に結露（※）が生じることがあります。結露したまま使用すると、ハードディスクの故障や、火災・感電の原因となります。
  ※結露とは表面や内部に水滴がつくこと。
- 温度差のある場所へ移動した場合には、使用する場所で半日ほどそのまま放置してからご使用ください。

4. 設置上のお願いおよび使用上のご注意

ハードディスクは精密機器です

ハードディスクは大変デリケートな精密機器です。設置環境や取り扱いによってハードディスクの寿命などに重大な影響がありますので、設置上のお願いおよび使用上のご注意を必ず守ってご使用ください。

■消耗部品について
- **ハードディスクは消耗部品です。３年を目安に交換してください（目安であり、保証ではありません）。**
- **交換したハードディスクの取り扱いについては、販売店などにご相談ください。**

直射日光が当たるところや熱器具の近くに置かない	● キャビネットが変形したり、部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。
熱を発するものの上に、本機を置かない	● カメラ駆動ユニットなどの熱を発するものの上には置かないでください。内部の温度が上昇して、故障の原因になります。
通風孔や冷却ファンをふさがない	● 内部の温度が上昇して、故障の原因となることがあります。壁などに近づけて放置しないでください（後面は壁から 15cm 以上、左右は壁から 10cm 以上のスペースを空けてください）。また、本機の底面の足を取り外して設置しないでください。 ● 本機には冷却用ファンが内蔵されていますのでモーター音がします。
強力な磁気のあるところに置かない	● 磁気の影響を受けて映像が乱れたり、故障の原因となることがあります。
ハードディスクについて	● 当社指定のハードディスク以外は使用できません。 ● ハードディスクは精密機器です。落としたり、ぶつけたり、過大な衝撃を与えないよう取り扱いには注意してください。故障の原因となります。 ● ハードディスクは結露したまま使用すると破壊につながります。 寒い屋外などから暖かい室内に持ち込んだときは、半日ほど放置してから使用してください。
本機を移動するとき	● 電源を OFF にしてから本機を移動してください。 ● 移動するときは、振動や衝撃を与えないように本機を移動してください。
本機に衝撃を与えない	● 本機は精密機器です。落としたりして衝撃を与えると、故障の原因となることがあります。
振動のあるところで使わない	● 本機は精密機器です。振動を与えると故障の原因となることがあります。

縦置きはしない	● 本機は、水平位置で使用するように設計してあります。垂直にしたり、極端に傾けて使用しないでください。
屋外では使わない	● 本機は、屋内での使用を目的に設計されています。屋外では、使用しないでください。
付属品以外は使用しない	● 電源コードは必ず付属品を使用して、2 極接地極付き電源コンセントに接続してください。 ● 機器接続線、ローレットネジ、SATA ブラケットなどの付属品を必ず適切に使用し、eSATA ケーブルなどに負荷がかからないようにしてください。

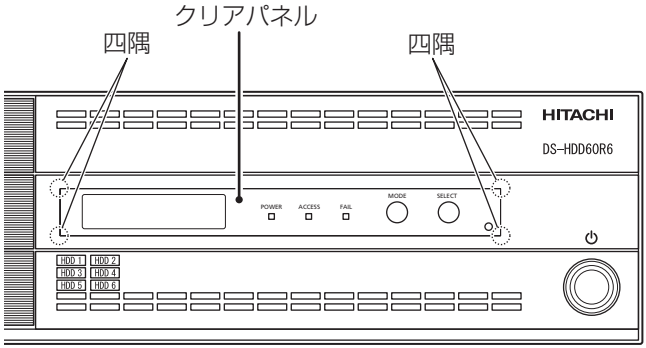
本機の故障、もしくは不具合により発生した付随的損害（営業損失などの補償）の責については、ご容赦ください。

ハードディスクが故障したとき、記録した映像音声データの保管および復旧はご容赦ください。

● 交換したハードディスクの取り扱いについては、お買い上げの販売店などにご相談ください。

保護フィルムについて

お買い上げ時、クリアパネルにはキズ防止の保護フィルムが貼り付けられています。
保護フィルムをはがしてお使いいただく場合は、保護フィルムの四隅の一角を爪先ではがし、はがした部分を指でつまみゆっくり全体をはがしてください。



5. お手入れと定期清掃のお願い

お手入れについて

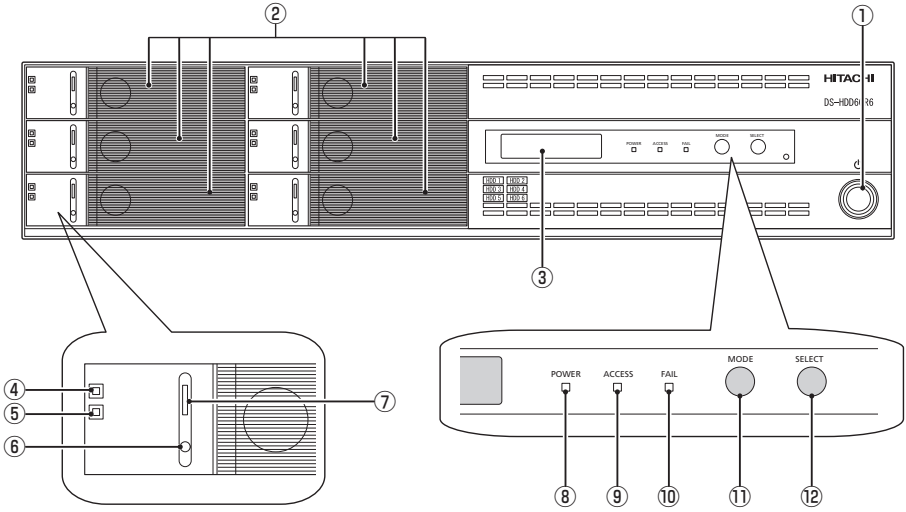
- 化学ぞうきんを使用するときは、その注意書に従ってください。
- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、柔らかい布で軽くふきとってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふきとり、乾いた布で仕上げてください。
- キャビネットをベンジンやシンナーでふかないでください。塗装がはがれたり変質することがあります。
- キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させたままにしないでください。塗装がはがれることがあります。

定期清掃のお願い

前面および後面の通風孔がほこりで目詰まりしていると、内部が十分冷却されないため、本機の寿命を短くする可能性があります。定期的にほこりを取り除いてください。

6. 各部の名称

前面



① **電源ボタン**　本機の電源を ON/OFF します。

② **HDD モジュール**　着脱可能なハードディスク搭載ユニットです。
上段左から HDD1、HDD2 / 中段左から HDD3、HDD4 /
下段左から HDD5、HDD6 です。

③ **液晶パネル**　本機の状態を表示します。

④ **HDD 電源 / 異常ランプ**　HDD の電源がONのとき、青色に点灯します。
HDD に障害が発生したとき、橙色に点灯します。
橙色に点灯したときは、お買い上げの販売店または、お客様ご相談窓口（27ページ）に修理をご依頼ください。

⑤ **HDD アクセスランプ**　HDD にアクセスしているとき、緑色に点滅します。

⑥ **セキュリティキー差し込み口**　保守作業時に使用します。

⑦ **ロック表示**　HDD モジュールがロックされているときは、橙色で表示します。
HDD モジュールのロックが解除されているときは、灰色で表示します。

⑧ **電源ランプ**　本機の電源がONのとき、青色に点灯します。

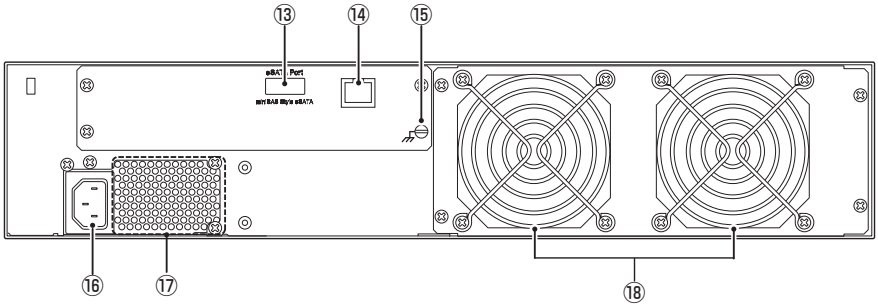
⑨ **アクセスランプ**　本機にアクセスしているとき、緑色に点滅します。

⑩ **異常ランプ**　障害が発生しているとき、橙色に点灯します。

⑪ **モードボタン**　保守作業時に使用します。

⑫ **セレクトボタン**　保守作業時に使用します。

後 面



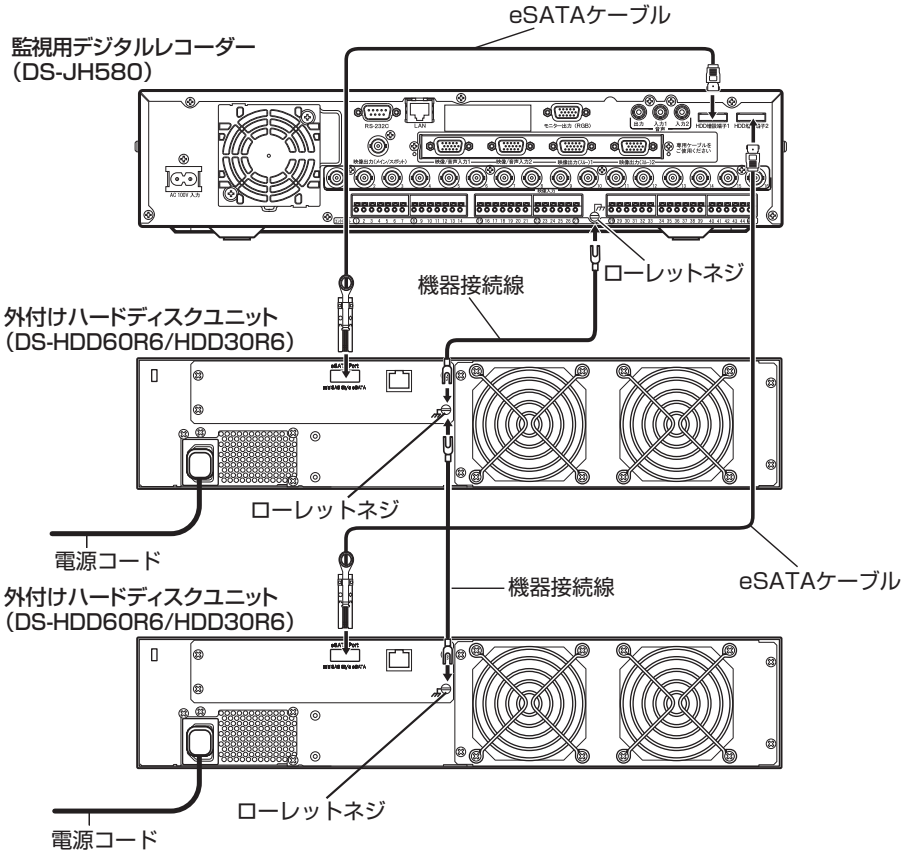
⑬ **miniSAS 端子**　eSATA ケーブルを接続します。
⑭ **LAN 端子**　この端子は使用しません。
装着されているカバーは、ほこりの進入を防止するダストカバーです。取り外さないでください。
⑮ **アース端子**　機器接続線を接続するときに使用します。
⑯ **電源入力端子**　付属の電源コードを接続します。
⑰ **通風孔**　内部の電源ユニットの温度上昇を抑制します。
通風孔の周りをふさがないようにしてください。
壁から 15cm 以上スペースを空けてください。
⑱ **冷却ファン**　内部の温度上昇を抑制します。冷却ファンの周りをふさがないようにしてください。

2章　接続のしかた

1.　監視用デジタルレコーダーと接続する

ご注意
- 本機が正常に動作しない可能性がありますので、付属品は必ず取り付けてください。
- 監視用デジタルレコーダーが稼働中のときは、記録を停止して電源を OFF にしてください。
- 本機は日立監視用デジタルレコーダー専用です。それ以外の機器では使用しないでください。

■接続例（DS-JH580 と接続するとき）

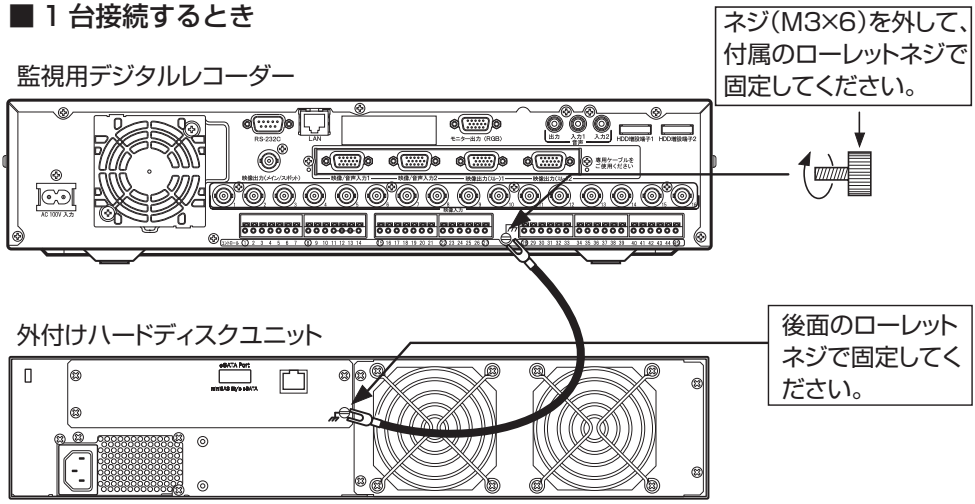


- 機器接続線を本機と監視用デジタルレコーダーのアース端子に接続します（18ページをご覧ください）。
- eSATA ケーブルを本機の miniSAS 端子と監視用デジタルレコーダーの HDD 増設端子に接続します（19ページをご覧ください）。監視用デジタルレコーダーのHDD増設端子は2つあり、2台まで接続することができます。

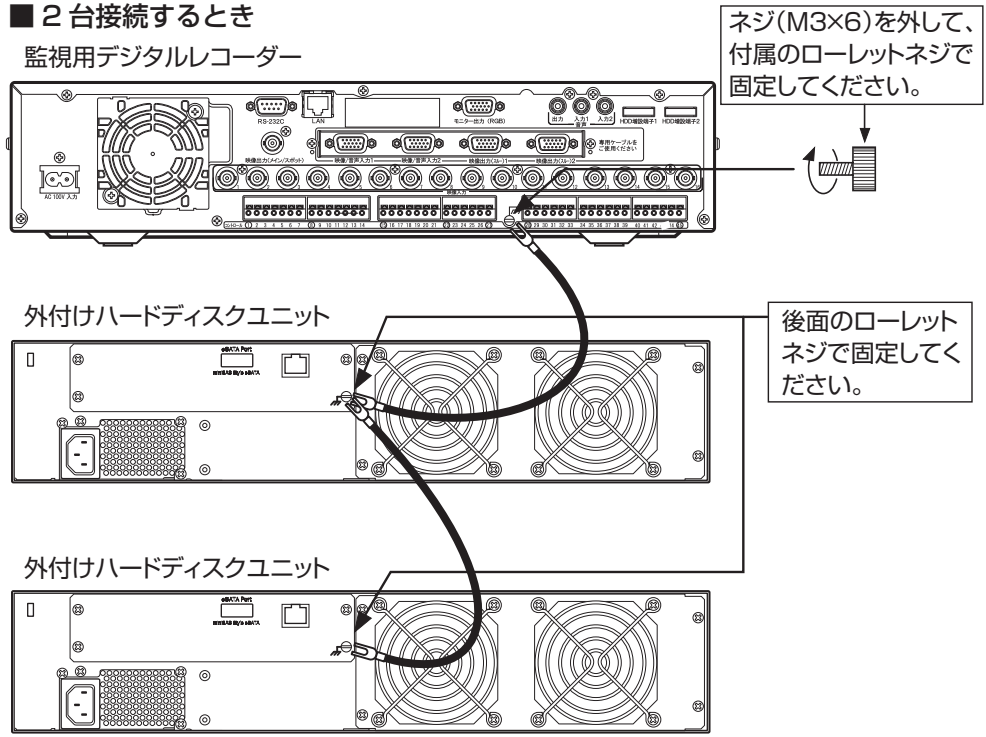
2. 機器接続線の接続

本機と DS-JH シリーズの接続のしかたについて説明します。
付属の機器接続線を以下の図のように接続してください。

■ 1 台接続するとき

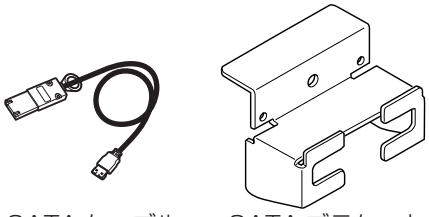


■ 2 台接続するとき



3. eSATA ケーブルの接続

付属の eSATA ケーブルおよび SATA ブラケットを以下の手順で取り付けてください。

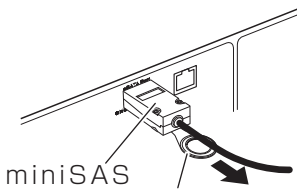


eSATA ケーブル　　SATA ブラケット

1. eSATA ケーブルの miniSAS コネクタを本機の miniSAS 端子（eSATA Port）に接続する。

しっかり奥まで差し込みます。

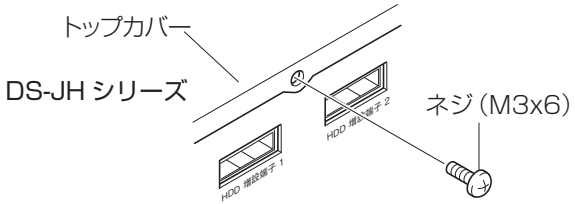
miniSAS コネクタの抜きかた



① miniSAS コネクタが動かないように押さえながら、リングを矢印方向に引きます。
② リングを引きながら、miniSAS コネクタを抜きます。

2. DS-JH シリーズ後面 HDD 増設端子上部のネジを外す。

プラスドライバーをご使用ください。

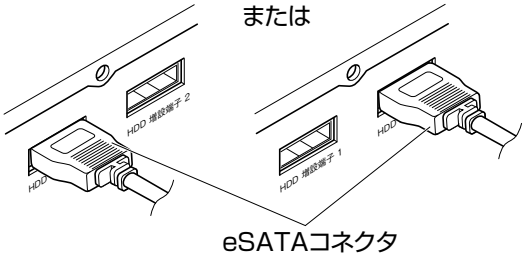


HDD 増設端子上部のネジ

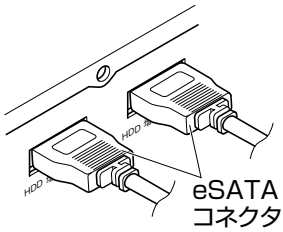
3.eSATA ケーブルの eSATA コネクタを DS-JH シリーズ後面の HDD 増設端子に接続する。

本機を 1 台接続するときは、eSATA ケーブルを HDD 増設端子 1（左側）または HDD 増設端子 2（右側）のいずれかに接続してください。本機を 2 台接続するときは、eSATA ケーブルを HDD 増設端子 1 と HDD 増設端子 2 に接続してください。

1 台接続するとき



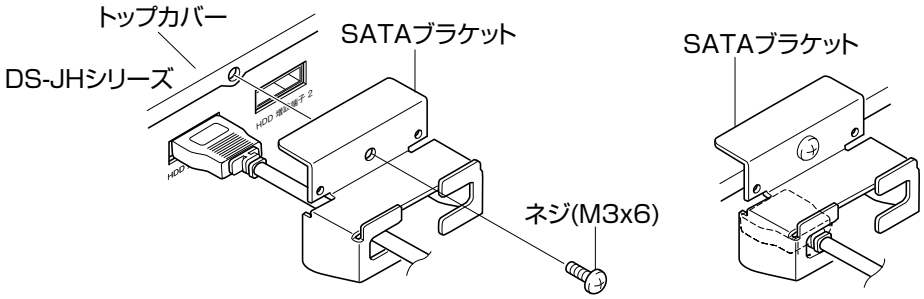
2 台接続するとき



eSATA ケーブルの接続状態

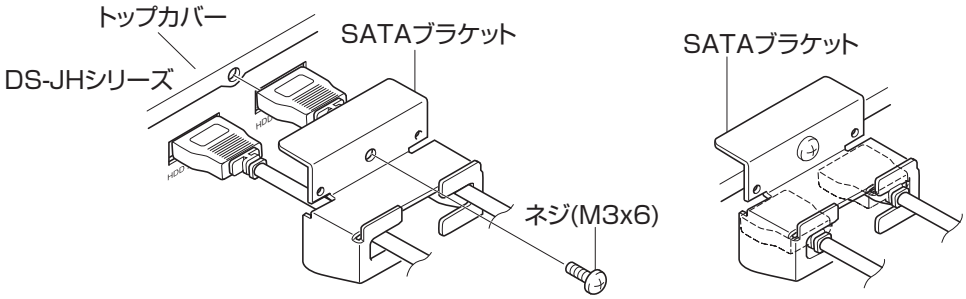
4.SATA ブラケットを取り付け、外したネジで固定する。

1 台接続するとき



SATA ブラケットの取り付け状態

2 台接続するとき



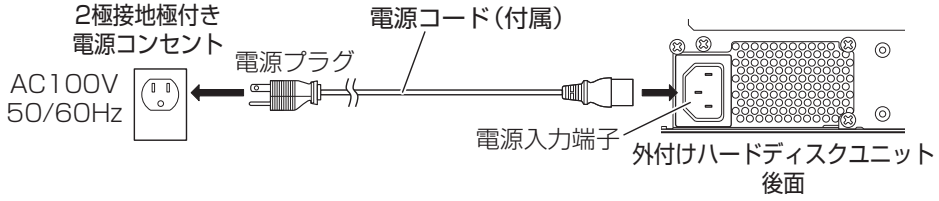
SATA ブラケットの取り付け状態

3章　基本操作

1.　電源の入れかた / 切りかた

電源コードの接続

付属の電源コードを本機の電源入力端子と2極接地極付き電源コンセントに接続してください。

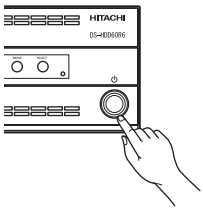


ご注意
- 電源プラグはアースピンが浮かないようにしっかり奥まで差し込んでください。
- 2極電源コンセントを2極接地極付き電源コンセントに変更するときは、電気工事が必要です。販売店などにご相談ください。

電源の入れかた

ご注意 必ず外付けハードディスクユニットの電源を先に入れてください。手順を間違えると正常に登録できません。

1. 本機前面の電源ボタンを押す。



電源ランプが点灯し、液晶パネルに「System Initializing..」と表示されます。しばらくすると次のように表示され、起動が完了します。

RAID-5 NORMAL	（お買い上げ時および RAID-5 設定のとき）

2. 監視用デジタルレコーダーの電源コードを電源入力端子と電源コンセントにつなぐ。

3. 監視用デジタルレコーダーの HDD 電源を ON にする。

4. 監視用デジタルレコーダーの取扱説明書に記載の手順で、監視用デジタルレコーダーに外付けハードディスクユニットを登録する。

正常に登録されたことを確認してください。

電源の切りかた

ご注意 必ず監視用デジタルレコーダーの電源を先に切ってください。手順を間違えると登録が抹消されることがあります。

1. 監視用デジタルレコーダーの HDD 電源を OFF にする。

2. 監視用デジタルレコーダーの電源コードを電源コンセントから抜く。

3. 本機前面の電源ボタンを押す。

電源ランプが消灯します。

2. 有効記録容量について

有効記録容量（監視用デジタルレコーダーで初期化した容量）は RAID の設定によって変わります。

	RAID-5	RAID-6
DS-HDD60R6	約 4.0TB	約 3.2TB
DS-HDD30R6	約 2.0TB	約 1.6TB

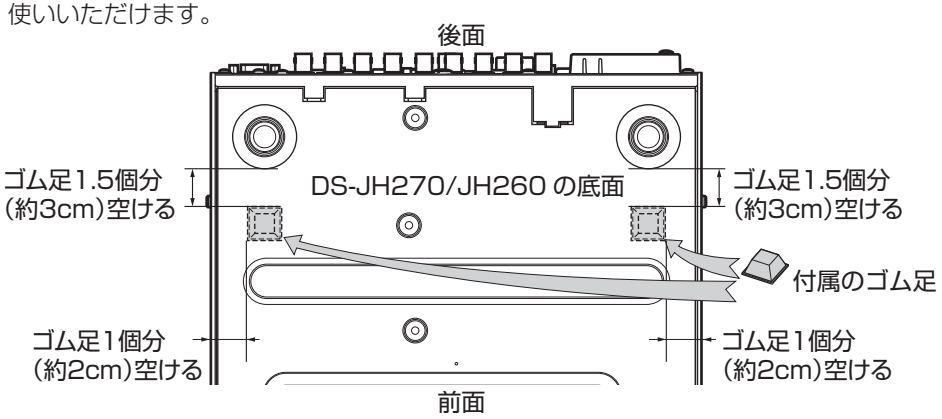
対象機種：DS-JH590/JH580/JH570/JH560/JH270/JH260

ご注意
- 搭載 HDD の合計記録容量が有効記録容量ではありません。
- 出荷時は RAID-5 に設定されていますので RAID-6 で使用するときは、お買い上げの販売店などにご相談ください。

4章 付 録

1. 本機にDS-JH270/JH260を載せてお使いになるとき

お使いの DS-JH270/JH260 の底面に付属のゴム足を図のように貼り付けてください。
ゴム足を貼り付ける面の汚れはよくふき取ってから貼り付けてください。
※ DS-JH590/JH580/JH570/JH560 は付属のゴム足を貼り付けなくても載せてお使いいただけます。



2. 故障かな…と思ったら

症 状	お調べください	処 置	参照ページ
電源ランプが点灯(青)しない。	・電源コードが電源入力端子に接続されていますか。 ・電源コードが電源コンセントに接続されていますか。	電源コードが電源入力端子と電源コンセントに接続されているか確認してください。	21ページ
本機が登録できない。	・eSATAケーブルがminiSAS端子に接続されていますか。 ・eSATA ケーブルが監視用デジタルレコーダーの HDD 増設端子に接続されていますか。	eSATA ケーブルが本機の miniSAS 端子と監視用デジタルレコーダーの HDD 増設端子に接続されているか確認してください。	19ページ
	・正しい順序で電源を入れていますか。	電源の入れかた（21 ページ）を参照して正しい順序で電源を入れてください。	21ページ
異常ランプ(橙)またはHDD電源/異常ランプが点灯(橙)している。 液晶パネルにエラーメッセージが表示されている。	・エラーメッセージを確認してください。	お買い上げの販売店または、お客様ご相談窓口（27 ページ）に修理をご依頼ください。	15ページ

3. 保証とアフターサービス 必ずお読みください

保証書（別添）について

この商品には保証書を別途添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げの日から１年間です。
なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品の保有期間

当社は、この外付けハードディスクユニットの補修用性能部品を、製造打切後 6 年間保有しています。性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。
当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または、お客様ご相談窓口（27ページ）にご相談ください。

ご転居されるときは

ご転居により、お買い求めの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店をご紹介させていただきます。
ご転居にともない本機を設置する環境（建物内部の配線等）が変わると、所定の性能がえられなかったり、故障の原因になりますので、設置業者による配線工事や調整が必要です。

修理を依頼されるときは（出張修理）

本機が正常に動作しないときは、「故障かな…と思ったら」（23ページ）をお調べください。それでも正常に動作しない場合は、ご使用を中止し、必ず電源を切ってから、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。
なお、日立外付けハードディスクユニットの故障もしくは、不具合により発生した付随的損害（営業損失などの補償）の責については、ご容赦ください。

※万一、ハードディスクが故障した場合、保証期間内であっても記録した映像音声データの保管および復旧はご容赦ください。

修理を依頼されるときは（出張修理）

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容	
品名	日立外付けハードディスクユニット
形名	DS-HDD60R6/DS-HDD30R6
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も併せてお知らせください
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

修理料金の仕組み	
技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

保守点検サービスのおすすめ

保守契約を結んでいただきますと、保守契約期間中は保守契約条項により、安心で有利なサービスが受けられます。

- 障害が発生した場合は、保守員を派遣して本機の修復を行うとともに、必要により点検を実施します。
- 詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

消耗部品について

ハードディスクは消耗部品です。3 年を目安に交換してください（目安であり、保証ではありません）。

4. 仕 様

形式	DS-HDD60R6	DS-HDD30R6
記録メディア	HDD	
搭載HDD	1TB × 6台	500GB × 6台
インターフェース	SATA 準拠	
RAID	RAID-5/RAID-6（出荷時は RAID-5 に設定）	
電源	AC100V 50/60Hz	
消費電力	約 62W	
許容動作温度（湿度）	5～40℃（10～75%　結露なきこと）	
質量（本体）	約 9kg	
外形寸法	（幅）435 ×（高さ）93 ×（奥行）290mm（突起部を除く）	

- 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- 本機は日本国内専用です。電源電圧、信号方式の異なる外国ではお使いになれません。

5. お客様ご相談窓口

日立監視用機器についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ

なお、転居されたり、お買い上げの販売店がわからない製品の修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。
下記窓口の内容は、予告なく変更させていただく場合がございます。

修理などアフターサービスに
関するご相談は
TEL 0120 − 3121 − 68
FAX 0120 − 3121 − 87
（受付時間）9:00 ～ 19:00（月～土）
9:00 ～ 17:30（日・祝日）
携帯電話、PHS からもご利用できます。

商品情報やお取り扱いについてのご相談は
TEL 0120 − 3121 − 19
FAX 0120 − 3121 − 34
（受付時間）9:00 ～ 17:30（月～土）
日曜・祝日と年末年始・夏季休暇などの
弊社の休日は休ませていただきます。
携帯電話、PHS からもご利用できます。

- お客様ご相談窓口の内容は変更になることがありますのでご了承ください。
- お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録（録音など）させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 出張修理のご依頼をいただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

ご購入店名：

後日のために記入しておいてください。サービスを依頼されるときお役にたちます。

電話（　　－　　－　　）　ご購入年月日：　　年　　月　　日

製造番号は品質管理上重要なものです。
お買い上げの際は、製造番号と保証書の番号が一致しているかご確認ください。

企業や公共機関の家電品ニーズにおこたえする窓口

0120-3121-19

家電ビジネス情報センター 平日午前９時～午後５時 30 分
日曜・祝日と年末年始・夏季休暇などの弊社の休日は休ませていただきます。

株式会社 日立産業制御ソリューションズ
〒170-8466 東京都豊島区東池袋四丁目5番2号
ライズアリーナビル

この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

QR83502 ©Hitachi Industry & Control Solutions, Ltd. 2015

Printed in Japan 13-03(I)